

2011年3月の福島第一原発の爆発事故により、原発から30～50km圏にまたがる飯館村は高濃度の放射性物質に覆われた。一ヶ月を超える混乱ののち、村は全域が避難指示区域に指定され、全村民6千人以上が今も居住制限下にある。避難先の仮設住宅では動物との同居が禁止されており、犬猫たちは三年もの間、「あたりまえの暮らし」が失われた場所で帰宅のままならない飼い主を待ち続けている。

村での給餌活動が続ける“猫撮る”写真家・上村雄高が出会った美しい山里の四季と、過酷な原発災害を生き抜く犬猫たち、その二年間の命の記録。

上村雄高 かみむらゆたか

1971年生まれ。東京在住。B型。
ウェブ制作会社勤務、ネットショップ経営を経て
2009年にフォトグラファーに転身。
ペット雑誌での猫の撮影や東日本大震災の被災者・被災動物の取材撮影などフォトグラファーとして活動の場を広げている。
猫12匹と外猫2匹とともに暮らしている。

作品参加：町田尚子（画家）



Gallery éf

東京都台東区雷門 2-19-18
2-19-18 Kaminarimon, Taito-ku, Tokyo

TEL 03 3841 0442

<http://www.gallery-ef.com>

<http://www.nekotoru.com>

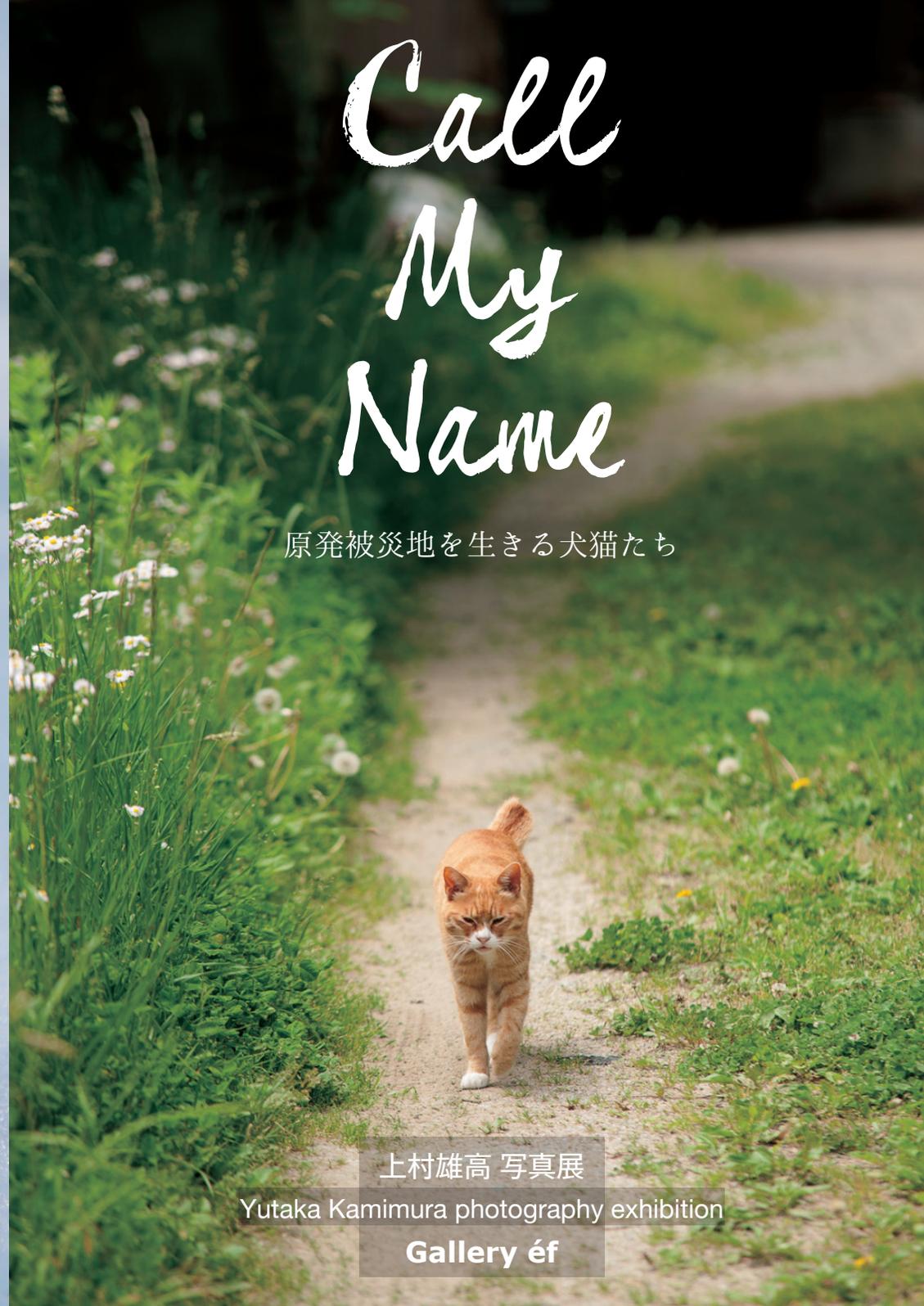


G: 銀座線浅草駅2番出口

A: 都営浅草線浅草駅A5出口

Call My Name

原発被災地を生きる犬猫たち



上村雄高 写真展

Yutaka Kamimura photography exhibition

Gallery éf